

第四次町田市子ども読書活動推進計画

2022年度取組結果報告書

町田市教育委員会

2023年7月

目 次

基本目標Ⅰ 子どもが本と出会うきっかけ作り

- 1-1……………図書館でのおはなし会
- 1-2……………「子育てひろば」でのおはなし会
- 1-3……………学童保育クラブのおはなし会
- 1-4……………子どもセンターのおはなし会
- 1-5……………自由民権資料館まつりでのおはなし会
- 1-6……………「きしゃポッポ」等での読み聞かせ
- 1-7……………健診時のおはなし会
- 1-8……………ブックトーク
- 1-9……………図書館のおすすめブックリスト
- 1-10……………ことばらんどショートショートコンクール
- 1-11……………図書館でのイベント・講座
- 1-12……………文学館でのイベント・講座
- 1-13……………図書館見学の受け入れ
- 1-14……………マイ保育園登録時の絵本配布
- 1-15……………イベント等における本の活用
- 1-16……………母子バッグへのおすすめ絵本リスト同封
- 1-17……………各校特色のある読書活動

基本目標Ⅱ いつでも身近なところに本がある環境作り

- 2-1……………えいごのまちだ
- 2-2……………図書館児童資料
- 2-3……………公立保育園および地域子育て相談センター
- 2-4……………学童保育クラブ
- 2-5……………子どもセンター
- 2-6……………「学校図書館活用の手引き」
- 2-7……………学校図書館の蔵書整備
- 2-8……………学校図書館支援貸出
- 2-9……………「子育てひろばカレンダー」の発行
- 2-10……………「生涯学習NAVI」の発行
- 2-11……………まちだ子育てサイトの活用
- 2-12……………図書館公式ホームページ・Twitter
- 2-13……………「家庭学習の手引き」の提供
- 2-14……………「本と出会う場所」マップ

基本目標Ⅲ 子どもの読書に関わる人の配置と育成

- 3-1……………学校図書館担当者研修
- 3-2……………新任教諭への図書館研修
- 3-3……………児童文学講座の実施
- 3-4……………保護者向け絵本の読み聞かせ講座の実施
- 3-5……………図書館おはなし会ボランティアの養成
- 3-6……………文学館おはなし会ボランティアの養成

基本目標 I ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2022年度目標	2022年度取組	2022年度取組結果	自己評価	2023年度目標	2023年度取組予定
1	1	おはなし会	図書館でのおはなし会	図書館(サービス係児童担当)	乳幼小保	乳幼児向けから小学校低学年向けまで、年齢・発達にあったおはなし会を、各図書館が工夫をこらして実施する。	・「おはなし会」を、全館で通常どおり再開する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、2年連続で中止している「ボランティアとの懇談会」を開催する。 ・「(全館の)児童担当者による打合せ」を実施し、開催にあたって生じた課題を検討する。 ・現在、不定期で開催している「おはなし会」を、通常どおり定期的に開催する。 ・実施可能な館による「出張おはなし会」を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【中央図書館】 ・大きい子向けおはなし会:49回開催、309名参加 ・小さい子向けおはなし会:12回開催、105名参加 ・乳幼児向けおはなし会:36回開催、147名参加 ・こわいおはなし会:1回開催、14名参加 【さるびあ図書館】 ・おはなし会:11回開催、118名参加 ・小さい子向けおはなし会:5回開催、19名参加 ・乳幼児向けおはなし会:10回開催、81名参加 【鶴川図書館】 ・おはなし会:3回開催、22名参加 ・乳幼児向けおはなし会:3回開催、23名参加 【金森図書館】 ・おはなし会:41回開催、330名参加 ・乳幼児向けおはなし会:11回開催、106名参加 【堺図書館】 ・おはなし会:5回開催、26名参加 ・こうさぎ保育園向けおはなし会:16回開催、199名参加 ・乳幼児向けおはなし会:9回開催、54名参加 【鶴川駅前図書館】 ・おはなし会:12回開催、65名参加 ・乳幼児向けおはなし会:12回開催、82名参加 ・えいごのおはなし会:9回開催、76名参加 【木曾山崎図書館】 ・大きい子向けおはなし会:13回開催、46名参加 ・赤ちゃんと小さい子向けおはなし会:12回開催、77名参加 【忠生図書館】 ・大きい子向けおはなし会:20回開催、221名参加 ・大きい子向けこわいおはなし会:1回開催、23名参加 ・しげんの国保育園おはなし会:2回開催、19名参加 ・小さい子向けおはなし会:4回開催、51名参加 ・乳幼児向けおはなし会:11回開催、74名参加 	B	・「おはなし会」を全館で定期的に開催する。	・2021年度に再開したおはなし会について、2022年度の開催状況を踏まえて、2023年度も継続して開催する。
1	2	おはなし会	「子育てひろば」でのおはなし会	子育て推進課	乳幼小保	「子育てひろば」事業の一つとして、地域子育て相談センターが乳幼児向けおはなし会を開催する。絵本や紙芝居の読み聞かせを中心に行う。見て聞いて絵本の楽しさを味わえるように、わかりやすい絵本を提供しながら取り組む。	・図書館の絵本も活用しながら、地域の親子に絵本に触れる機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子育てひろばの出し物の一つとして、絵本に触れる機会を設ける。 ・図書館職員やボランティアによるおはなし会を取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会を主とした子育てひろばを102回開催した。 ・子育てひろばの中で読み聞かせ等の時間を必ず作ることで、絵本やお話に触れる機会が持てるようにした。 ・子どもセンター併設の町田地域子育て相談センターでは、来館した未就学児の親子に向けて、月に14日程度、絵本の読み聞かせをする取り組みを行った。 ・地域のおはなしボランティアによるおはなし会を開催する機会を設けることができた。 	B	・図書館の絵本も活用しながら、地域の親子に絵本に触れる機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子育てひろばの中で、絵本に触れる機会を設ける。 ・図書館職員やボランティアによるおはなし会を取り入れていく。
1	3	おはなし会	学童保育クラブのおはなし会	児童青少年課	小	在籍する子どものために、おはなし会を実施する。また、子どもセンターや図書館のおはなし会に参加しておはなしを聞く機会を確保する。	・3年生以上の高学年児童による読み聞かせの機会を増し、定例化することを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回実施するおはなし会の中で、高学年児童の読み聞かせを行う機会を増せるよう、職員が高学年児童に働きかけ、楽しくやりがいを感じながら実施できるよう支援していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回程度実施するおはなし会の中で、希望する3年生以上の児童が、低学年児童に対して読み聞かせを行う機会を設けた。 ・指定管理者においても、19の学童保育クラブでおはなし会が行われ、内1つでは児童による読み聞かせを行う機会を設けた。 	B	・3年生以上の児童が読み聞かせを行う機会を増やせるよう、職員が児童に働きかけ、楽しくやりがいを感じながら実施できるよう支援していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回程度実施するおはなし会の中で、3年生以上の児童が低学年児童に読み聞かせを行う機会をさらに増やせるよう、職員が児童に働きかけ、楽しくやりがいを感じながら実施できるよう支援していく。

基本目標 I ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2022年度目標	2022年度取組	2022年度取組結果	自己評価	2023年度目標	2023年度取組予定
1	4	おはなし会	子どもセンターのおはなし会	児童青少年課	乳幼小	市民に向けた「乳幼児向けおはなし会」を行う。	【ばあん】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施することを目指す。	・2022年度も引き続き、感染状況に留意し、継続して事業を実施していく。また、夏休み事業等についても、2021年度と同様、実施していく予定である。	・原則毎月2回、乳幼児及び未就学児を対象に、絵本の紹介を含めたお話や手遊び、パネルシアターなどを、ボランティア団体「おはなしとんからりん♪」に依頼し実施した。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、参加定員を設けた。 ・夏休み・冬休みの大型イベントの演目として、おはなし会を実施した。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、感染状況に留意しながら、継続しておはなし会を行う。また大型イベント時においても実施していく。
							【つるっこ】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施することを目指す。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、ボランティア団体「柿の木文庫」にご協力いただき、毎月1回の乳幼児向けおはなし会、小学生向けの夏休みおはなし会を実施していく。	・ボランティア団体「柿の木文庫」による乳幼児向けのおはなし会「びよばおタイム」を毎月1回実施した。 また小学生向けのおはなし会を夏休みに1回実施した。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、感染状況に留意しながら継続して事業を実施していく。
							【ばお】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施することを目指す。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、継続して事業を実施していく。	・毎月第2金曜日に乳幼児及び未就学児を対象に、絵本や紙芝居のお話、手遊び、わらべ歌などを、ボランティア団体「おはなしアイアイ」に依頼し実施した。 ・年3回の大型イベントで乳幼児向けのおはなし会を実施した。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、感染状況に留意しながら継続して事業を実施していく。
							【ばお分館WAAAO】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施することを目指す。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、継続して事業を実施していく。 ・不定期開催の「おはなしたいむ」については、月1～2回程度、定例的に実施していく。	・毎月第1・3金曜日に、ボランティア団体「さくらんぼの会」に依頼し親子向けのおはなし会を開催した。 ・「おはなしたいむ」については、利用者の状況を見て3月までに7回実施した。 ・塚図書館との連携事業として1月に乳幼児向けおはなし会を実施した。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。 ・「おはなしたいむ」の実施回数を増やす。	・引き続き、感染状況に留意しながら継続して事業を実施していく。
							【ただON】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施することを目指す。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、継続して事業を実施していく。 ・忠生図書館共催事業「調べてミッション！ 図書館の本を使ってクイズに挑戦しよう！」については、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、実施できる方法を検討していく。	・紙芝居・手遊び・パネルシアター・音楽に合わせたお話などを、ボランティア団体「ひろば文庫」に依頼し、乳幼児の親子を対象に毎月1回実施した。 ・夏休み期間に、小学生を対象にした「こわいおはなし会」を実施した。 ・10月に「わくわくおはなし会スペシャル」として、おはなし会にフルートの生演奏を加え、実施した。 ・忠生図書館との共催事業として、3月に「ふしぎがいっぱい工作おはなし会」を実施した。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、感染状況に留意しながら継続して事業を実施していく。
							【まあち】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施することを目指す。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、継続して事業を実施していく。	・毎月1回、ボランティア団体「にこぼ」による、手遊びやわらべうた、絵本の読み聞かせなどのおはなし会（乳幼児向け）を実施した。 ・4、6、10、2月に1回ずつ、中央図書館・さるびあ図書館との共催による乳幼児向けおはなし会を実施した。 ・夏休み期間に1回、中央図書館との共催による小学生向けのこわいおはなし会を実施した。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・新型コロナウイルス感染症の状況に留意しながら、継続して事業を実施していく。
1	5	おはなし会	自由民権資料館まつりのおはなし会（紙芝居上演） ※自由民権資料館まつりは事業見直しにより中止	自由民権資料館	小中保	町田の郷土史に興味を持ってもらうために、「町田の民話」の紙芝居等を実施する。	・イベントや体験講座において町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書を紹介する。	・イベントや体験講座において町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書を紹介する。	B	・イベントや体験講座において町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書の活用を目指す。	・イベントや体験講座において町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書を紹介する。	
1	6	おはなし会	「きしゃポッポ」等での読み聞かせ	生涯学習センター	乳保	「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」、「親子対象のイベント等の保育を伴う事業において、読み聞かせや絵本の紹介を行う。	・「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」において、毎回読み聞かせ、紹介を行う。 ・大型絵本を活用する。	・「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」において、読み聞かせや紹介、絵本の展示を続けていきたい。また、引き続き大型絵本も活用したい。	・毎月テーマに沿った2冊を選び、「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」で読み聞かせ、紹介をした。 ・2冊のうち1冊は大型絵本を活用することとし、読み聞かせの際、親子で楽しみやすいように工夫をした。 なお、絵本の展示はイベント中のみ行った。	B	・「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」において、毎回読み聞かせ、紹介を行う。 ・大型絵本を活用する。	・「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」での読み聞かせや紹介、絵本の展示を続けていきたい。 また、引き続き大型絵本も活用したい。

基本目標 I ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2022年度目標	2022年度取組	2022年度取組結果	自己評価	2023年度目標	2023年度取組予定
1	7	おはなし会	健診時のおはなし会	保健予防課	幼保	3歳児健診の待ち時間に、ボランティアグループの協力による絵本の読み聞かせや手遊びを行う。	・健診の呼び出し方法を変更する際には実施の可否を検討する。	・健診会場で3密を避けるため、呼び出し時間を細かく区切り待合の時間を縮小しているため、再開の予定が立っていない。	再開が見込めないため、事業廃止とした。	C	※現在の、健診呼び出し時間の細分化を継続していく予定のため、当該事業の再開は見込めず、事業は廃止とする。	
1	8	ブックトーク	ブックトーク	図書館(サービス係児童担当)	幼小中	普及・継続に向けて、ブックトークのノウハウ共有とスキル向上を図る。より効果的なPRに努める。	・市内全域の小学校等地域にPRする。 ・全館でブックトークを再開する。	・全館の「児童担当者による打合せ」を実施し、市内全域にPRできる方法を検討する。 ・依頼に基づき、ブックトークを実施する。	・全館までにはいかなかったが、中央館以外の館もブックトークを開催した。 【中央図書館】 ・7月15日「藤の台小学校(6年生)」:2クラス47名参加 ・12月16日「藤の台小学校(4年生)」:2クラス70名参加 【金森図書館】 ・2月16日「南第四小学校(1年生)」:3クラス89名参加 ・2月21日「南第四小学校(3年生)」:3クラス79名参加 ・3月3日「南第四小学校(支援学級)」:1クラス15名参加 【忠生図書館】 ・12月5日「図師小学校(3年生)」:3クラス82名参加 ・12月13日「図師小学校(4年生)」:3クラス95名参加 ・2月13日「図師小学校(6年生)」:3クラス84名参加 ・3月1日「図師小学校(5年生)」:2クラス74名参加 ・3月28日「山崎学童」:16名参加	C	・市内全域の小学校等地域にPRする。	・ブックトークの効果的なPR方法について検討を行っていく。
1	9	ブックリスト	図書館のおすすめブックリスト	図書館	乳幼小中保	＜赤ちゃん向け＞ 「あかちゃんとたのしみえほん」 ＜幼児向け＞ 「ほんのたからじま 3・4・5さい」 ＜小学生向け＞ 「本のたからじま」(学年ごと) その他、新しい本からおすすめ「みんなでよもうどもの本」、「YA通信」等を発行する。	・継続して発行し、関係部署等に配布する。	・「ほんのたからじま 3・4・5さい」を、引き続き保育園・幼稚園に配布する。 ・「みんなでよもうどもの本(総集編)」を、4/23子どもの読書週間に合わせて子ども関係施設に配布する。 ・22年度も継続して、「みんなでよもうどもの本」、「YA通信」等を発行する。 ・「しん1ねんせい用本のたからじま」を学校に送付し、入学式で配布するよう依頼。 ・「みんなでよもうどもの本」を2回発行し、子ども関係施設にて配布する。 ・「YA通信」を5回発行し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等37校、子どもセンター等へ配布。	・「ほんのたからじま(3・4・5さい)」を、全市立保育園に配布し、私立保育園及び幼稚園には園長会で案内した。 ・これまで「しん1ねんせい用本のたからじま」を学校に送付し、入学式で配布するよう依頼していたが、児童担当業務の見直しに伴い、図書館で利用券を作成した際に渡すように変更した。 ・「本のたからじま」については、小学校へ配布する代わりに、生徒に配布されているタブレットへ、図書館HP対象URLのブックマークを登録することにした。 ・「みんなでよもうどもの本」2021年度版総集編を、子どもの読書週間に合わせて子ども関係施設に配布した。 ・「みんなでよもうどもの本」185号から187号まで発行した。 ・「YA通信」247号から254号まで発行し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等37校、子どもセンター等へ配布した。	B	・継続して発行し、関係部署等に配布する。	・「ほんのたからじま 3・4・5さい」を、引き続き保育園・幼稚園に案内及び配布する。 ・「みんなでよもうどもの本」については、利用者に効果的に届くように検討を行う。 ・「みんなでよもうどもの本(総集編)」を、子どもの読書週間に合わせて子ども関係施設に配布する。 ・23年度も継続して、「YA通信」等を発行する。し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等37校、子どもセンター等へ配布する。
1	10	子ども向け読書活動普及事業	ことばらんどショートショートコンクール (旧:町田市創作童話コンクール)	文学館	小中	青少年の創作活動の機会提供の一環として、子どもたちの豊かな人間性を育むことを目的として行っている「ことばらんどショートショートコンクール事業」を実施する。	・青少年の文学に触れあうきっかけとなるよう、引き続き「ショートショートコンクール」を実施する。 ・1,000編の応募数を目指す。 ・高校生の応募数50編を目指す。	・多くの児童・生徒に応募してもらえるよう出張授業で創作の楽しさ、方法を伝える。 ・効果的なPR活動を行い「ショートショートコンクール」の認知度を高める。	・ショートショート書き方講座などの出張授業を、小学校5校、高校1校、計6校で実施し、366名が参加した。 ・ショートショートコンクールのPRのため、駅前商業施設・町田モディにて約1か月間出張展示を行った。また、2021年度の表彰式の様子をまとめた動画3本をYouTubeで公開し、その結果、応募総数は887編となった。 ・市内の高等学校での出張授業を初めて実施し、45名の参加があったことなどで、高校生の応募件数は90編となった。	A	・青少年の文学に触れあうきっかけとなるよう、引き続き「ショートショートコンクール」を実施する。 ・1,000編の応募数を目指す。	・多くの児童・生徒に応募してもらえるよう出張授業で創作の楽しさ、方法を伝える。 ・効果的なPR活動を行い「ショートショートコンクール」の認知度を高める。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2022年度目標	2022年度取組	2022年度取組結果	自己評価	2023年度目標	2023年度取組予定
1	11	子ども向け読書活動普及事業	図書館のイベント・講座	図書館	乳幼小中	「一日図書館員」、「図書館の達人養成講座(まちクエ)」のような参加・体験型イベント、「まちだ図書館まつり」等の図書館事業を行う。	・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、各館でイベントを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 「一日図書館員」や「まちクエ」の参加者が増えるような工夫をし、引き続き体験型イベントの開催を行う。 「まちだ図書館まつり」のようなイベントを企画する団体の活動支援ができるよう体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・POPコンテストを11月10日から1月10日まで行った。90作品の応募があり、第1次審査は図書館職員、第2次審査は各館来館者・書店の来店者・地域文庫運営者の投票により、最優秀賞1名、優秀賞2名が決まり、応募作品全体から図書館長特別賞が2名選ばれた。入賞作品はしおりにして、市内各所に配布した。 【中央図書館】 ・児童向けイベントとして、「にんきものをさがせ!」、「ポプラディアを使って問題を解いてみよう!」、「こわいおはなし会」を計4回実施した。 ・中学生から大学生までを対象にした、図書館員を体験できるイベント「一日図書館員」を4回実施し、16名の参加があった。 ・まちクエ2022を12月9日から2月8日に実施し、41名の参加があった。アンケート回答者22名、内イベント対象学年は11名だった。 【鶴川図書館】 ・夏休みイベント「にんきものをさがせ!」を実施した。 【金森図書館】 ・夏休みイベント「本で世界を旅しよう!〜マゼラン世界一周500周年〜」を実施した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、各館でイベントを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの参加者が増えるような工夫をし、引き続き体験型イベントの開催を行う。 ・子ども・若者が参画できるような取組を検討・推進する。
1	12	子ども向け読書活動普及事業	文学館のイベント・講座	文学館	乳幼小中	文学館の特徴をいかした、子ども対象の講座等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児親子対象のおはなし会を年間を通じて定期的に実施し、子どもたちの「ことば」への関心を育てる。 ・「ことば」のリズムと創作の楽しさを小学生に知ってもらうため、俳句教室を年2回(春・秋)開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子ども達の「文学の扉」となる事業を、年齢に応じた内容を工夫し実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの年齢に応じた絵本の読み聞かせやわらべうたの事業として、「ちんぷいぷい」(0・1歳児対象)を21回、「2歳児あつまれ!」を4回、「3・4歳児あつまれ!」を4回実施し、それぞれ212名、31名、20名の参加があった。 ・小学生を対象に、野外に赴いて吟行を行う俳句教室「俳句でハイク」を春季(5月から7月)と秋季(10月から12月)に行い、春季には延べ27名の、秋季に延べ24名の参加があった。 ・小中高生を対象に創作の機会を提供する「ことばらんどショートショートコンクール2022」を実施。小学生411編、中学生386編、高校生90編の総数887編の応募があった。 ・絵本原画を中心とする夏季展の開催時期に併せて保育園・幼稚園の団体観覧者を募り、7施設から0歳から5歳児を中心に206名(引率者を含む)の見学者を数えた。 ・夏季展の開催時期に合わせ、芹ヶ谷公園での屋外型絵本読み聞かせイベントを実施、延べ50名の親子が参加した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の「文学の扉」となる事業を、成長過程や年齢に応じたプログラムで実施する。 ・子ども達に「創作」の機会や専門家から直接指導を受けられる実体験の場を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発育に応じたおはなし会を定期的実施し、親子のコミュニケーションを通じて「ことば」への関心を育てる。 ・屋外への吟行を実践し、「ことば」のリズムと創作の楽しさを体験する機会となる俳句教室を年2回(春・秋)開催する。 ・夏季(子ども向け)展覧会の開催に併せ、保育園・幼稚園施設から団体観覧者を積極的に誘致し、子ども達に文学に触れあう機会を提供する。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2022年度目標	2022年度取組	2022年度取組結果	自己評価	2023年度目標	2023年度取組予定
1	13	子ども向け読書活動普及事業	図書館見学の受け入れ(利用ガイダンス、施設見学)	図書館	幼小中	学校等からの見学ツアーを受け入れ、図書館の利用方法、図書館の行っている仕事等を広める。	・依頼に基づき、継続して受け入れていく。	・地域からの依頼に基づき図書館見学を開催する。	<p>【中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月17日「本町田小学校(3年生)」:36名参加 ・10月21日「つくし野小学校(3年生)」:67名参加 ・11月4日「南大谷小学校わかば学級(特別支援学級)」:36名参加 ・2月14日「町田第二小学校(2年生)」:79名参加 <p>【さるびあ図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月15日「町田第一小学校(2年生)」:36名参加 ・12月15日「町田第一小学校(2年生)」:106名参加 <p>【鶴川図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月18日「和光鶴川小学校(3年生)」:6名参加 <p>【金森図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月9日「高ヶ坂小学校(2年生)」:52名参加 ・12月2日「南第三小学校(2年生)」:68名参加 ・12月6日「南第四小学校(2年生)」:97名参加 <p>※ビデオ撮影・視聴</p> <p>【木曾山崎図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月21、22、23日「七国山小学校(2年生)」:80名参加 ・10月7、12日「本町田小学校(2年生、みどり学級)」:75名参加 ・10月28日「町田の丘学園(3年生)」:20名参加 ・12月9日「町田の丘学園(4年生)」:28名参加 ・3月3日「町田の丘学園(3年生)」:19名参加 <p>【塚図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月12、19日「相原小学校(2年生)」:68名参加 ・2月1日「LCA国際プリスクール(年長、年少)」:42名参加 <p>【鶴川駅前図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月11日「鶴川第三小学校(2年生)」:84名参加 ・12月12日「大蔵小学校(2年生)」:12名参加 <p>※インタビュー形式で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月24日「金井小学校(2年生)」:89名参加 <p>【忠生図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月21日「図師小学校(2年生)」:29名参加 ・11月17日「山崎小学校(2年生)」:10名参加 	A	・依頼に基づき継続して受け入れていく。	・地域からの依頼に基づき、継続して図書館見学を開催する。
1	14	子ども向け読書活動普及事業	マイ保育園登録時の絵本配布	子育て推進課	乳保	0歳で新規に「マイ保育園」登録とした赤ちゃんには絵本を配布する。絵本に関しては、図書館と連携して0歳向けのものを選定する。	・マイ保育園登録につながるよう、勧奨訪問で登録を勧めていく。	・引き続き、0歳でマイ保育園新規登録者には、絵本を配布していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・マイ保育園登録で、1,076冊の絵本を配布した。 ※マイ保育園とは、地域の家庭が近隣の保育園を「かかりつけ保育園」として登録し、気軽に相談できるような子育て支援のこと。 	B	・マイ保育園登録につながるよう、勧奨訪問で登録を勧めていく。	・引き続き、0歳でマイ保育園新規登録者には、絵本を配布していく。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2022年度目標	2022年度取組	2022年度取組結果	自己評価	2023年度目標	2023年度取組予定
1	15	子ども向け読書活動普及事業	イベント等における本の活用	生涯学習センター	乳幼小中保	イベントや講座等を開催する際に、テーマや対象にあった本を展示・紹介する。	・本の展示、紹介を行う内容を含む事業を企画・実施する。	・平和祈念事業や講座において、本の展示や紹介を行う内容を含めて、企画・実施したい。	・平和祈念事業において、子ども向け紙芝居の読み聞かせを行った。 ・家庭教育支援学級において、受講生同士が絵本を持ち寄って、紹介・情報交換し合うワークショップを行った。また、絵本のビブリオバトルを行い、人気の高かった絵本を「ママたちのおすすめ絵本」としてポスターにまとめ、館内に掲示・紹介した。 ・市民提案型事業講座づくり★まちチャレにおいて、「子どもとの関わりにもっと絵本を」と題して、絵本作家によるワークショップ、図書館見学など、さまざまな方法で絵本を楽しみ、子どもとの時間を豊かにするための講座を実施した。	B	・本の展示、紹介を行う内容を含む事業を企画・実施する	・平和祈念事業や講座において、本の展示や紹介を行う内容を含めて、企画・実施する。
1	16	子ども向け読書活動普及事業	母子バッグへのおすすめ絵本リスト同封	保健予防課	乳保	母子手帳と一緒に配布される母子バッグに、赤ちゃんにおすすめの絵本のリストを入れる。	・妊娠届出/転入の妊婦に対して、「おすすめ絵本リスト」を封入した母子バッグの配布を行う。	・妊娠届出/転入の妊婦に対して、「おすすめ絵本リスト」を封入した母子バッグの配布を行う。	・年間を通し、妊娠届の妊婦及び転入の妊婦に対して、「あかちゃんとのしむ絵本」を封入した母子バッグを配布した。 (妊娠届出:2,303件、転入:258件)	B	・赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介し、絵本に親しんでもらう。	・妊娠届出/転入の妊婦に対して、「おすすめ絵本リスト」を封入した母子バッグの配布を行う。
1	17	各学校での読書活動	各校特色のある読書活動	学校・指導課	小中	教育課程「指導の重点」に明記し、市立小・中学校においてそれぞれ特色ある読書活動に継続的に取り組む。	・教育課程「指導の重点」に位置付けた、各校の特色ある読書活動を推進する。	・特色ある読書活動に取り組んでいる学校の実践例を研修等で紹介できるように、情報収集を行う。	・学校図書館担当者研修会を鶴川第二小学校で行い、実際に図書指導員と教員とが連携して学校図書館をどのように整備しているのか、読書活動の推進を図る実践例等について紹介することができた。	B	・教育課程「指導の重点」に位置付けた、各校の特色ある読書活動を推進する。	・特色ある読書活動に取り組んでいる学校の実践例を研修等で紹介できるように、情報収集を行う。

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2022年度目標	2022年度取組	2022年度取組結果	自己評価	2023年度目標	2023年度取組予定
2	1	図書資料の充実	えいごのまちだ	図書館(企画・地域支援係)	乳幼小中	町田市が取り組む「えいごのまちだ」事業を推進し、英語の児童書を充実する。	・外国語児童書蔵書数全館合計6,800冊。 ・多読コーナーを設置していない館にも多読コーナー設置を目指す。	・引き続き、英語多読につながる図書の購入を進め、まだ多読コーナーを設置していない館にも設置するようにする。 ・ふるさと納税の寄付金対象事業となったため、多くの支援を受けるための宣伝に力を入れる。	・英語多読コーナー増設のため、「Oxford Reading Tree」や音声付き資料(CDなど)とあわせて、ノンフィクションや文学全集などの読み物、乳幼児向けボードブックを加え、蔵書数は約6,800冊となった。 ・「英語多読コーナー」を、2023年2月10日に3館(さるびあ図書館、金森図書館、堺図書館)新たに設置し、既存の3館(中央図書館、鶴川駅前図書館、忠生図書館)とあわせて予定していた6館に設置することができた。 ・11月20日英語多読講演会「英語多読で楽しく学ぼう!」、 2月12日英語絵本読み聞かせ講座「#おうちで英語!」、 3月2日ボランティア向け研修「英語絵本も読み聞かせ♪」、 3月18日英語多読講演会「英語多読をはじめました!」、 3月21日10代向け講演会「英語多読で推し活がはかどります!」を行った。	A	・電子書籍サービスの音声付き電子書籍Read-Along(リード・アロング)と、多読コーナーの周知を図る。	・英語多読につながる図書の購入を進め、英語多読コーナーの周知に努める。 ・ふるさと納税の寄付金対象事業となったため、多くの支援を受けるための宣伝に力を入れる。
2	2	図書資料の充実	図書館児童資料	図書館	乳幼小中	図書館において、児童・生徒の興味関心や調べ学習に対応できる蔵書構成、資料の充実に努めるとともに、引き続き幅広いニーズに迅速に応えられるよう、情報収集に努める。	・ビジネスチャットの活用方法を確立する。	・引き続き選定会議で、現物を見たとうえで、新刊の内容を確認してから発注する。 ・カウンター業務における読書相談を丁寧に行い、利用者のニーズを把握する。 ・カウンター業務における読書相談を丁寧に行い、利用者のニーズを把握する。 ・ビジネスチャットの活用について、担当者打合せ等で検討。	・選定会議で、現物を見たとうえで、新刊の内容を確認してから発注した。 ・カウンター業務における読書相談を丁寧に行い、利用者のニーズを把握するよう努めた。その一例として、2023年6月から中央図書館で第3・第4週の土曜日に行うおはなし会を、午後の開催に変更することにした。 ・ビジネスチャットを利用して連絡を活発に行い、業務改善等につなげた(おはなし会の予定をHPに記載する業務を各館持ち回りで行うことなど)。	B	・カウンター業務における読書相談を丁寧に行い、利用者のニーズを把握する。	・引き続き選定会議で、現物を見たとうえで、新刊の内容を確認してから発注する。 ・カウンター業務における読書相談を丁寧に行い、利用者のニーズを把握する。
2	3	図書資料の充実	公立保育園および地域子育て相談センター	子育て推進課	乳幼	引き続き、絵本の状況確認を行いながら、必要に応じて本の購入や図書館の再利用本活用で資料の充実を図る。また図書館の団体貸出もあわせて利用する。	・子ども達に絵本に触れる機会を多く作っていく。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、活用を検討していく。	・新型コロナウイルス感染症予防のため、園児が図書館を利用する機会は減ったが、13回利用することができた。 ・職員が図書館の団体貸し出しを活用し、子ども達に絵本に触れる機会を作った。	B	・子ども達に絵本に触れる機会を多く作っていく。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、活用していく。
2	4	図書資料の充実	学童保育クラブ	児童青少年課	小	事前にリスト等で選定した再利用本を年代別にし、計画的に受入れられる。団体貸出では、年代別のおすすめ等をパッケージ化することで利用の促進を図る。	・再利用本や団体貸出を活用し、図書の充実を図る。	・利用者や地域の方から提供される再利用本を活用する。 ・定期的に団体貸出を活用し、おはなし会や読み聞かせで活用する。	・利用者や地域の方のほかに、子どもセンターから提供される再利用本を活用することで図書の充実を図ることができた。 ・定期的に団体貸出を活用し、お話し会や読み聞かせで活用した。	B	・再利用本を活用し蔵書を増やす。 ・定期的に団体貸出を利用し、おはなし会や読み聞かせで活用する。	・利用者や地域の方、在籍児童の保護者から提供される本の受け入れを行い、蔵書を増やしていく。 ・小学校の長期休業期間に図書館の団体貸出を利用し、おはなし会や読み聞かせ、および児童の読書時間で活用する。
2	5	図書資料の充実	子どもセンター	児童青少年課	幼小中	事前にリスト等で選定した再利用本を年代別にし、計画的に受入れられる。団体貸出では、年代別のおすすめ等をパッケージ化することで利用の促進を図る。	・再利用本の受入や団体貸出などを活用し、図書の充実を図る。	・利用者や地域の方から提供される本、再利用本や団体貸出を活用する。 ・子ども委員会や来館者の子どもたちからリクエストを募り、図書の新規購入を行う。	・子ども委員会や利用者からリクエストを募り、新規で図書を購入したほか、企業から本の寄附を受けたことなどにより、各施設において蔵書の充実を図った。	B	・再利用本を活用し蔵書を増やす。 ・子ども委員会や来館者の子どもたちからリクエストを募り、図書の充実を図る。	・利用者や地域の方から提供される本、再利用本や団体貸出を活用する。 ・子ども委員会や来館者の子どもたちからリクエストを募り、図書の新規購入を行う。
2	6	学校図書館の整備	「学校図書館活動の手引き」	学校・指導課	施	活用状況を把握するとともに研修等の内容に反映させ、普及・啓発を図っていく。	・「学校図書館活動の手引き」を活用し、学校図書館の効果的な活用を図る。	・研修等で活用についての状況調査を行い、注目が高い内容について、研修の内容や講師の選定にも活用する。	・「学校図書館活動の手引き」を活用して研修を行った。 また、各学校の具体的な取組については、情報交換の時間を設けて、よい実践を共有することができた。	B	・「学校図書館活動の手引き」を活用し、学校図書館の効果的な活用を図る。	・第1回目の研修で、「学校図書館活動の手引き」について周知するとともに、各学校の取組について情報交換を行う。

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2022年度目標	2022年度取組	2022年度取組結果	自己評価	2023年度目標	2023年度取組予定
2	7	学校図書館の整備	学校図書館の蔵書整備	指導課	小中	組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、考慮し、学校図書館資料の充実を図る。	・組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、学校図書館資料の充実を図る。	・図書の選定については、学校の図書担当の教員が十分理解しておく必要がある。2022年度については年度の早い段階で司書教諭や図書担当教員に蔵書の構成方法について周知を図る。	・図書の選定については、学校図書担当者研修会で説明をしたが、参加者は全校の3分の1程度であったので、2023年度については、悉皆研修として、全校に内容がいきわたるようにする。	C	・組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、学校図書館資料の充実を図る。	・図書の選定については、学校の図書担当の教員が十分理解しておく必要がある。 ・2023年度については年度の早い段階で図書担当教員や図書指導員に教育総務課とも連携し蔵書の構成方法や廃棄基準などについても周知を図る。
2	7	学校図書館の整備	学校図書館の蔵書整備	教育総務課	小中	組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、考慮し、学校図書館資料の充実を図る。	・学校図書館図書標準全校達成	・引き続き学校図書館図書標準の達成を支援するとともに、蔵書数を維持できるよう予算の確保に努める。 ・今後も各校の学校図書館の蔵書数や学校図書館図書標準の達成状況を確認する。	・学校規模に応じた予算配当を行った。 ・2022年9月30日時点の「学校図書館蔵書整備報告書」の進捗状況を確認した。 ・2023年3月31日時点の学校図書館蔵書整備状況を調査し、全校が学校図書館図書標準を達成したことを確認した。	B	・学校図書更新比率の現状把握。 ・町田市立学校図書館図書廃棄基準策定の検討。	・各校の学校図書館の蔵書数や学校図書館図書標準の達成状況を確認し、引き続き学校図書館図書標準の達成を支援する。 ・学校図書館蔵書整備報告書において、学校図書更新比率の項目を設け、各校の図書更新比率の現状を把握する。 ・関係部署や学校から情報収集し、町田市立学校図書館図書廃棄基準の策定を検討する。
2	8	学校図書館の整備	学校図書館支援貸出	図書館	小中施	図書館から学校図書館への貸出のしくみを改善するなど、支援方法を見直す。	・ニーズを把握するため、学校へのアンケート調査を行う。	・支援方法改善及びニーズ把握のため、学校へのアンケート調査等を行う。 ・「テーマ別貸出セット」構築のため、引き続き資料の追加購入をする。	・学校図書館支援貸出は26校が利用し、貸出冊数は2,884冊であった。 ・学校図書館の支援方法改善やニーズ把握のため、小・中学校へ学校図書館支援に関するアンケート調査やヒアリングを実施した。 ・「テーマ別貸出セット」構築のため、資料の追加購入を行った。	B	・学校図書館支援に関するアンケート調査の結果を活用して、支援方法の検討を行う。	・引き続き各学校への支援方法を検討する。 ・「テーマ別貸出セット」の充実に向けて、引き続き資料の追加購入を進めていく。
2	9	情報の発信(保護者向け)	「子育てひろばカレンダー」の発行	子育て推進課	保	保育園で実施している子育てひろばに関する情報誌「子育てひろばカレンダー」に、図書館で開催しているおはなし会情報を掲載している。毎月25日に発行し、市内約160箇所配布している。	・親子がおはなしに触れる機会を発信していく。	・引き続き、図書館からの原稿掲載依頼に対応していく。	・図書館のおはなし会は町田地域、南地域が各12回、鶴川地域が11回、忠生地域、塚地域が各9回、計58回掲載し、207箇所配布をした。	B	・親子がおはなしに触れる機会を発信していく。	・引き続き、図書館からの原稿掲載依頼に対応していく。

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2022年度目標	2022年度取組	2022年度取組結果	自己評価	2023年度目標	2023年度取組予定
2	10	情報の発信(保護者向け)	「生涯学習NAVI」の発行	生涯学習センター	保	市民が参加できる講座・講演会、イベント情報を集めた情報誌「生涯学習NAVI」の中で、読書や読み聞かせに関する講座、おはなし会の情報を発信する。	・引き続き、読書や読み聞かせに関する講座、おはなし会等の情報を分かりやすく発信する。	・図書館、文学館の情報だけでなく、まちライブラリーなどさまざまな地域団体や教育機関等に情報提供を呼び掛け、情報の充実を図る。	・子どもとその保護者を対象とした、おはなし会や紙芝居、絵本、ことば遊びのイベント情報を23件掲載した。 (春2,000部・夏2,000部、秋号2,000部、冬号2,000部を市内の公共施設や相模原市・大学・専門学校等で配布)	B	・引き続き、読書や読み聞かせに関する講座、おはなし会等の情報を分かりやすく発信する。	・図書館、文学館の情報だけでなく、まちライブラリーなどさまざまな地域団体や教育機関等に情報提供を呼び掛け、情報の充実を図る。
2	11	情報の発信(保護者向け)	まちだ子育てサイトの活用	子ども総務課	保	「おはなし会」等のイベントや子どもの読書活動推進普及に役立つ情報を掲載する。	・見やすい、探しやすいサイトを目指し、整理を行っていく。	・引き続き、各施設で行われているイベントの情報を、分かりやすく見やすく伝えていく。	・トップページの「目的からさがす」の項目に「イベント・教室」を新設し、イベントの情報を探しやすいとした。 ・庁内への周知及び掲載の呼び掛けを行うことで、子どもやその保護者向けのイベント情報の充実を図った。	B	・引き続き、各施設で行われている「おはなし会」等のイベントの情報を発信する。	・子どもやその保護者向けのイベント情報があれば、まちだ子育てサイトに掲載するように、庁内に呼び掛け、情報の充実を図る。
2	12	情報の発信(保護者向け)	図書館ホームページ・Twitter	図書館	保	「おはなし会」等のイベントや子どもの読書活動推進普及に役立つ情報を掲載する。	・引き続きわかりやすく情報の早い発信を目指す。 ・子育てサイトや他SNSへのアクセスが容易に出来るようにする。	・イベントのお知らせ以外のページ(「みんなでよもうこどもの本」の紹介ページなど)のPRを検討する。 ・子育てサイトに「おはなし会」のページを掲載していることをより多くの人に知ってもらえるようPRを行う。	・毎月1日と15日に図書館ホームページとTwitterにてイベント情報を掲載している。更新回数はホームページ276件、Twitter108件。 ・まちだ子育てサイトに「おはなし会」の情報を掲載している。夏休みは各館イベントごとにページを作成した。更新回数は106件。	B	・子ども読書に関する情報(イベント)をわかりやすく、早く発信していく。	・本の紹介ページ等の効果的な周知方法を検討していく。
2	13	情報の発信(保護者向け)	「家庭学習推進の手引き」の提供	学校・指導課	保	全家庭に「家庭学習推進の手引き」を作成し、配付していく。	・家庭でも、親子で本の読み聞かせをしたり、一緒に本を読む時間や場を設定したりするなど、読書に親しむことを啓発する。	・家庭学習の一環として「読書活動の推進」を行うことを継続する。	・家庭学習の推進については、各学校の取組のみであった。市としてできることを今後検討していく。	C	・家庭でも、親子で本の読み聞かせをしたり、一緒に本を読む時間や場を設定したりするなど、読書に親しむことを啓発する。	・家庭学習の一環として「読書活動の推進」を行うことを継続する。 ・中央図書館とも連携し、電子書籍の紹介を行い、クロムブックを用いた家庭での読書活動も啓発する。
2	14	情報の発信(保護者向け)	「本と出会う場所」マップ	図書館	保	本に出会える施設や、おはなし会等を実施している団体の情報を集約した読書マップを2020年に作成・公開する。	・「町田市読書マップ」の紙媒体の改訂。 ・ホームページ版の掲載内容の充実。	・紙媒体の改訂を行うため、登録施設への現況確認を行い、新規施設のリサーチを行う。 ・ホームページ版については、写真の追加等各施設の魅力が伝わるようなページづくりを検討する。	・「町田市読書MAP(マップ)」の改訂版として、「町田市読書MAP(マップ)2023」を2023年3月に作成した。 ・市立図書館各館、子どもセンターや子どもクラブ、市立保育園、高齢者福祉センター(ふれあい館)などで配布し、図書館ホームページにも掲載した。	B	・図書館ホームページに掲載している「町田市読書マップ」の修正対応。 ・ホームページ版については、写真の追加等各施設の魅力が伝わるようなページづくりを検討する。	・図書館ホームページに掲載している「町田市読書マップ」について、随時修正依頼に対応する。 ・ホームページ版については、写真の追加等各施設の魅力が伝わるようなページづくりを検討する。

基本目標Ⅲ ◎子どもの読書に関わる人の配置と育成

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2022年度目標	2022年度取組	2022年度取組結果	自己評価	2023年度目標	2023年度取組予定
3	1	施設運営職員の育成研修	学校図書館担当者研修	指導課	施	図書指導員・学校司書が司書教諭等と連携して円滑な図書館運営を図れるよう、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実していくための研修を行う。また、図書指導員間での情報共有を行う。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実していく。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備の研修を計画・実施する。 ・図書指導員間での情報共有を取り入れた研修の場の設定を行う。	・鶴川第二小学校で行った学校図書館担当者研修会の際、図書指導員と教員との連携方法について紹介することができた。 ・教員の参加が少なかったため、2023年度は年1回は悉皆研修とし、教員と図書指導員との連携について研修を行う。	B	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実していく。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備の研修を計画・実施する。 ・図書指導員間での情報共有を取り入れた研修の場の設定を行う。
3	2	施設運営職員の育成研修	新任教諭への図書館研修	指導課	施	研修を通して、専門性が深まるように啓発していく。	・授業内容の充実を図るために図書館の図書支援サービスの活用を啓発する。	・初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについての研修内容を取り入れる。	・初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについて研修をすることができた。 ・授業での活用の仕方等、具体的な取組を紹介でき、図書館の図書支援サービスの活用を啓発することができた。	B	・授業内容の充実を図るために図書館の図書支援サービスの活用を啓発する。	・初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについての研修内容を取り入れる。
3	3	講座	児童文学講座の実施	文学館	保	児童文学への理解を深めることにより、個人の読書行動や子どもの読書に関わる活動に寄与する。	・保護者が子どもの読書活動を支援できるよう、保護者向けの講演会と講座を実施する。	・引き続き、保護者を対象とした絵本や児童文学に関する事業を実施する。	・0歳から2歳児の保護者を対象とした読み聞かせ連続講座を11月に実施し、延べ4名が参加した。	C	・参加者ニーズと社会状況の変化に応じて、おはなし会の担い手養成を目的とした講座の実施を検討する。	・より多くの方に参加してもらえるよう、参加者ニーズ、参加資格、講座内容の再検証を行う。
3	4	ボランティア養成	保護者向け絵本の読み聞かせ講座の実施	図書館	保	保育園・幼稚園や小学校で読み聞かせを行っている保護者に対して、絵本の読み聞かせ講座を実施する。	・ただ実施するだけではなく、テーマを定め、テーマに沿って開催する。	・「(全館の)児童担当者による打合せ」を実施し、テーマを検討する。 ・館ごとに「基礎編担当」、「実践編担当」とに振り分け講座を開催する。	・全館の児童担当者による打合せを行い、全体でテーマを共有し、ボランティア講座を含めて、館で担当を振り分けて講座を開催した。 【中央図書館】 ・6月29日「絵本の読み聞かせ講座～基礎編」:13名参加 ・11月16日「絵本の読み聞かせ講座～応用編」:13名参加 【木曾山崎図書館/堺図書館】 ・12月1日「絵本の読み聞かせ講座～基礎編」:12名参加	B	・館ごとに個別で講座を開催するのではなく市立図書館の事業として全館で計画的に実施する。	・全館の児童担当者による打合せを行い、全体でテーマを共有し、ボランティア講座を含めて、館で担当を振り分けて講座を開催する。 ・全館で担当を振り分け、「基礎編」を3回開催する。
3	5	ボランティア養成	図書館おはなし会ボランティアの養成	図書館(サービス係児童担当)	保	ボランティアの更なる活躍のため、レベルアップ研修、おはなし会スキル講習を検討し、実施する。	・ただ実施するだけではなく、テーマを定め、テーマに沿って開催する。	・「(全館の)児童担当者による打合せ」を実施し、テーマを検討する。 ・館ごとに「乳幼児ボランティア向け」、「語り手向け」などに振り分け、研修等を開催する。	・全館の児童担当者による打合せを行い、全体でテーマを共有し、市民向け講座を含めて、館で担当を振り分けて講座を開催した。 【中央図書館】 ・6月15日「ボランティア(語り手)向け絵本の読み聞かせ講座～基礎編」:6名参加 ・3月7日「乳幼児ボランティア向け講座(講師:おはなし玉手箱)」:6名参加 【さるびあ図書館/忠生図書館】 ・1月26日「ボランティア(語り手)向けスキルアップ講座～実践編」:12名参加 【鶴川図書館/金森図書館】 ・2月7日「ボランティア(語り手)向け絵本の読み聞かせ講座～実践編」:13名参加	B	・館ごとに個別で講座を開催するのではなく市立図書館の事業として全館で計画的に実施する。	・全館の児童担当者による打合せを行い、全体でテーマを共有し、市民向け講座を含めて、館で担当を振り分けて講座を開催する。 ・ボランティア養成講座を開催する。
3	6	ボランティア養成	文学館おはなし会ボランティアの養成	文学館	保	「ちちんぷいぷい支援隊」メンバーの更なるレベルアップを図るための研修を継続して行う。メンバー以外の子ども読書に関わる人も研修に参加してもらう。	・子どもたちに質の高いおはなし会を提供するため、メンバーの更なるレベルアップを図る研修の機会を設ける。	・継続事業として実施予定。	・新型コロナウイルス感染症予防の観点から、外部講師の招聘、「ちちんぷいぷい支援隊」のメンバー以外が参加する研修は見送り、「ちちんぷいぷい支援隊」メンバー同士によるデモンストレーションの回数を増やし研鑽の機会とした。	B	・子どもたちに質の高いおはなし会を提供するため、メンバーの更なるレベルアップを図る研修の機会を定期的に設ける。	・研修機会の確保に努める。 ・演者による定期的なプログラムの実演機会を設け、相互に意見交換の場を設ける。 ・参加親子に低年齢化の傾向がみられるため、プログラムの内容を再検証する。 ・事業担当の司書による資料紹介を通じ、購入資料の有効活用機会とする。